

気仙沼道路の横断橋とトンネルを現場見学

～土木学会会員が(仮称)気仙沼湾横断橋と(仮称)気仙沼第2号トンネルを見学～

(仮)気仙沼IC(気仙沼市松崎高谷)から(仮)唐桑南IC(気仙沼市唐桑町只越)までの延長約9kmをつなぐ気仙沼道路の区間において、技術者から特に注目される「(仮称)気仙沼湾横断橋」と「(仮称)気仙沼第2号トンネル」の工事現場を土木学会の関係者に見学していただくこととなりました。

仙台河川国道事務所では、復興道路と位置づけられている三陸沿岸道路においてこうした現場見学会を積極的に開催しています。今回は特に土木技術者の専門家を中心としたグループの見学会となっております。

三陸沿岸道路は、延長35.9kmの自動車専用道路(鳴瀬奥松島IC以北は無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト(復興道路)として位置づけられています。

また、三陸沿岸道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。

記

- 実施日時 平成27年9月3日(木) 15:00～(2時間程度)
- 集合場所、時間 『海の市』気仙沼市魚市場前7-13
14:45集合後、現場まで先導します
- 見学場所 ①(仮称)気仙沼湾横断橋 15:10頃～
②(仮称)気仙沼第2号トンネル 16:10頃～
- 参加者 土木学会の会員及び関係者

【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、気仙沼記者クラブ】

問 い 合 わ せ 先

《事業及び現場見学会についてはこちら》

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
電話 022-248-4131(代)

副 所 長 たぐち かずひろ 田口 和弘 (内線205)
設 計 課 長 ししど ひでお 宍戸 英雄 (内線461)

《土木学会の問い合わせについてはこちら》

土木学会研究事業課 はしもと たかし
電話 03-3355-3559 橋本 剛志

【三陸沿岸道路HP】 <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/fukkou/index.html>

案内図

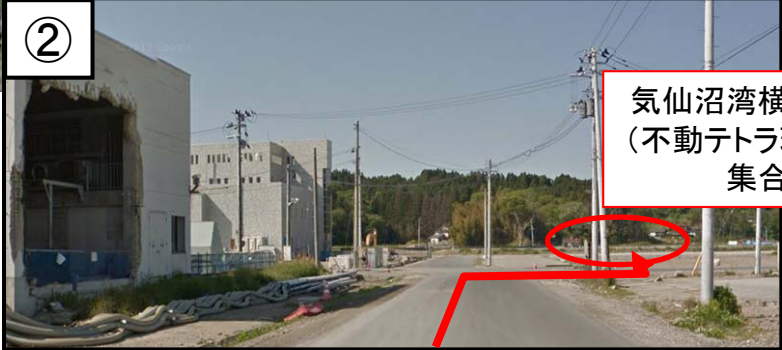
現地視察会

対象者 土木学会地震工学委員会 地震防災技術普及小委員会 第3WG

集合場所 「海の市」 宮城県気仙沼市魚市場前7-13



(仮称)気仙沼湾横断橋 案内図



気仙沼湾横断橋(仮称)
(不動テトラ現場事務所)
集合場所

(仮称)気仙沼第2号トンネル 案内図



(仮称) 気仙沼湾横断橋の概要

◆橋梁形式

- 海上部：① 3 径間連続鋼斜張橋
- 陸上部：② 鋼 7 径間連続箱桁橋 + 鋼 3 径間連続箱桁橋
- 橋長：1,344m
(①680m+②664m)

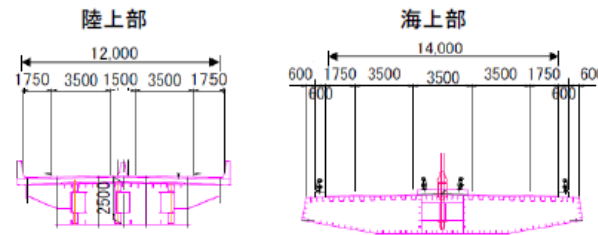
◆桁下クリアランス → 32m

- 既往最大通過船舶のマスト高に余裕高 2m以上を加えた高さ
 - ・既往最大船舶
(貨物船 マスト高 29.287m)
 - ・想定津波高
(レベル2津波痕跡高、TP+ 10m)

◆橋脚天端 → TP+ 15m

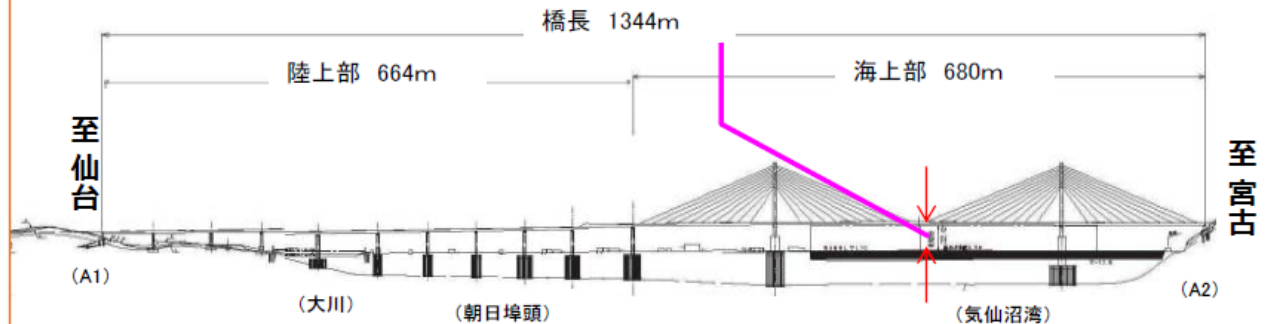
- 天端は津波時水位より上
(鋼製主塔を海水にさらさない)
- 津波時漂流船舶の船首が主塔に衝突しない高さ
- 平常時に既往最大船舶の船首が主塔に衝突しない高さ

▼ (仮称) 気仙沼湾横断橋の全体イメージ



【海面から橋桁までの高さ32m】
・航路確保及び津波漂流物を回避

▲標準断面図



気仙沼道路の整備効果

効果①：災害時における緊急輸送路の確保

- ◆ 津波により国道45号等の幹線道路が通行止め
- ◆ 津波浸水域の回避により、大規模災害時でも緊急輸送路が確保され、緊急支援物資等の輸送が可能



① 国道45号の被災状況

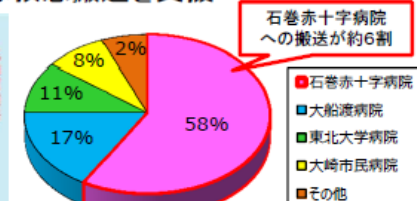


② 津波で瓦礫が山積み道路が寸断

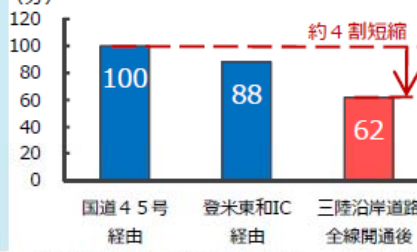
▲ 東日本大震災発生後の道路状況

効果②：高次救急医療施設への速達性の確保

- ◆ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送は、石巻赤十字病院が約6割
- ◆ 搬送時間が約4割短縮し、迅速な救急搬送を支援



▲ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送割合 (分)



▲ 気仙沼市から石巻赤十字病院への搬送経路

▲ 気仙沼市から石巻赤十字病院までの所要時間

効果③：気仙沼市の主要産業である水産業を支援

- ◆ 気仙沼港の水揚げ漁獲高は、震災以前の約6割まで回復
- ◆ 気仙沼道路の整備により、水産物等の輸送効率化・品質向上が図られ、主要産業である水産業の復興を支援

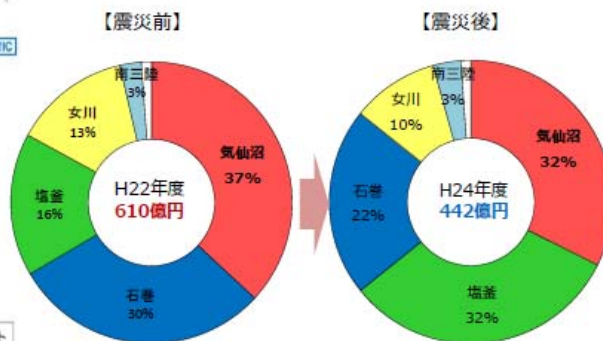


▲ 気仙沼港 水揚げ漁獲金額推移

輸送時間短縮による鮮度向上 → 商品価値の向上・さらに遠方へ出荷が可能に



▲ 三陸沿岸道路開通による出荷経路の変化



▲ 宮城県内の漁港別水揚げ漁獲金額のシェア